

2018年。創立100周年へ



より高品質でグローバルな物流をめざして

(証券コード:9322 東証一部)



2018年3月期 決算説明資料



2018年5月11日

川西倉庫株式会社

1

2018年3月期 連結決算の概要

2

2019年3月期 業績予想の概要

2018年3月期 連結決算の概要

2018年3月期決算は、増収増益で着地

☆ 港湾運送業務の増加

☆ 国際物流事業の取扱減少
(営業収益 前年同期比92%)

☆ 受取配当金の増加、
投資有価証券売却益の増加
(営業外収益、特別利益)

2018年3月期決算の概要①

(単位: 百万円、%)

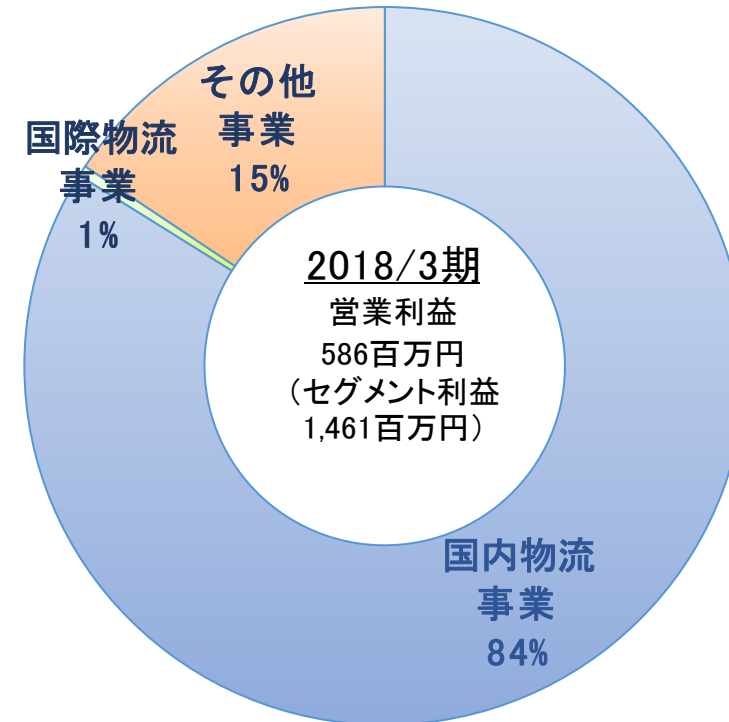
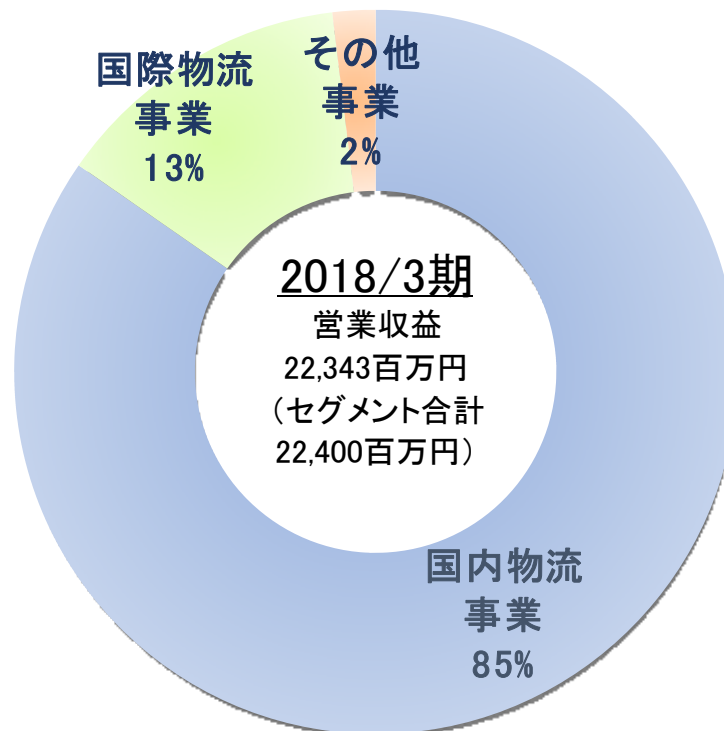
科目	2017/3期 実績		2018/3期				前期比	予想比
			当初予想		実績			
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比		
営業収益	22,197	100.0	23,000	100.0	22,343	100.0	+ 0.7	△ 2.9
営業利益	531	2.4	540	2.3	586	2.6	+ 10.4	+ 8.6
経常利益	546	2.5	600	2.6	657	2.9	+ 20.2	+ 9.5
親会社株主に 帰属する 当期純利益	370	1.7	660	2.9	487	2.2	+ 31.6	△26.2

2018年3月期決算の概要②

(単位:百万円)

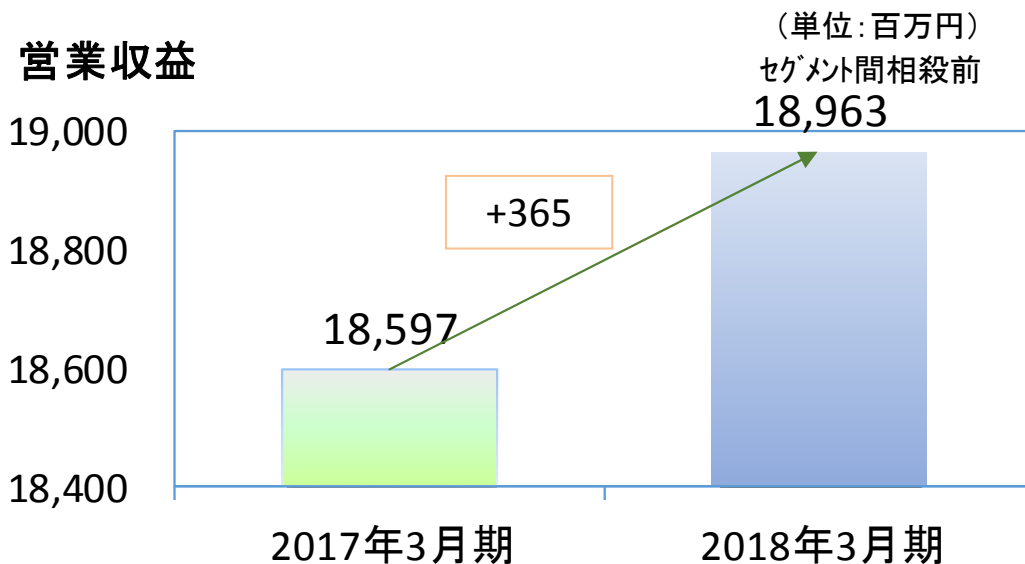
科 目	2017/3期 実績	2018/3期 実績	前期比	増減要因
	金額	金額		
営 業 収 益	22,197	22,343	+ 146	(増加)貨物取扱量の増加、港湾運送業務の増加、賃貸収入の増加 (減少)国際物流業務の減少
営 業 利 益	531	586	+ 55	(増加)荷役用具費等の減少、信託物件初期費用の減少 (減少)前期稼働新倉庫の減価償却費等増加、当期稼働新倉庫(海外)の費用増加
経 常 利 益	546	657	+ 110	(増加)営業利益の増加、受取配当金の増加
親会社株主に 帰属する 当期純利益	370	487	+ 117	(増加)経常利益の増加、投資有価証券売却益の計上 (減少)減損損失の計上

セグメント別実績占率(2018/3期)

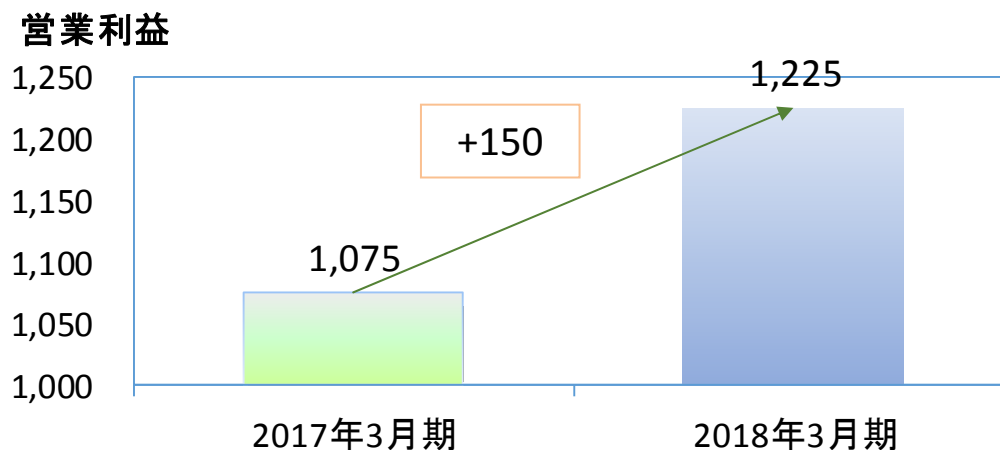


国内物流事業	倉庫業、港湾運送業、貨物運送取扱業、その他物流関連<通関業務、流通加工業務>
国際物流事業	国際運送取扱事業、倉庫業(海外)
その他事業	太陽光発電による売電事業、不動産賃貸事業、物流資材の販売

セグメント別実績(国内物流事業)



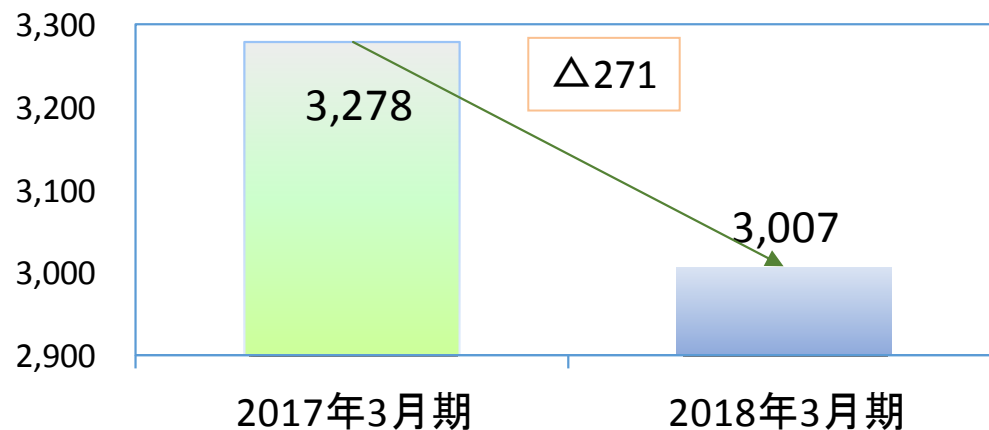
- ☆ 港湾運送業務の増加
- ☆ 連結子会社の増加
(関汽運輸(株)2016年6月株式取得)
- ☆ 貨物取扱量の増加
(入庫高 前年比+4%)



- ☆ 港湾運送業務の増加
- ☆ 荷役用具費等の減少
- ☆ 前期稼働した新倉庫にかかる減価償却費の増加

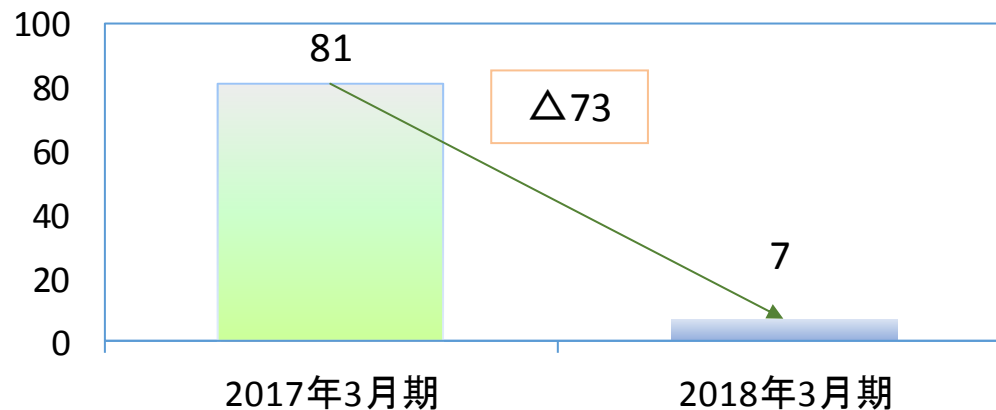
セグメント別実績(国際物流事業)

営業収益 (単位:百万円)
セグメント間相殺前

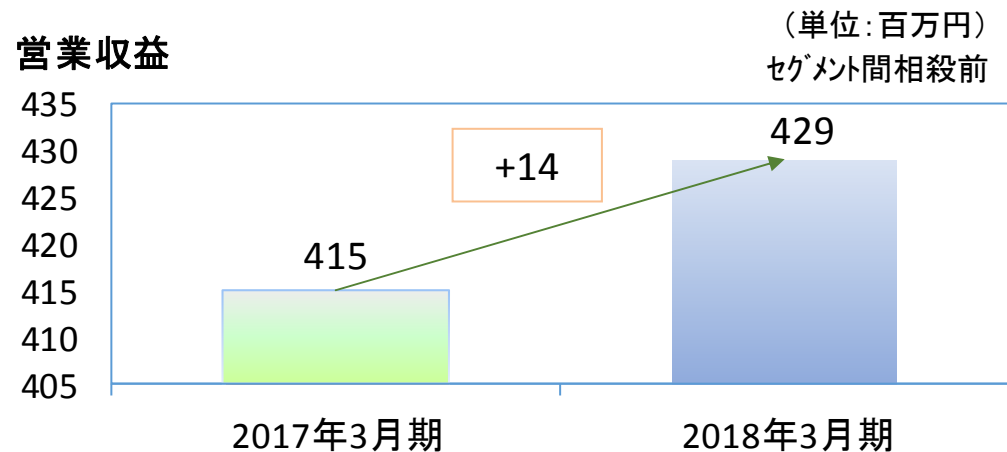


- ☆ 貨物取扱い減少
- ☆ 海外子会社の業績低迷

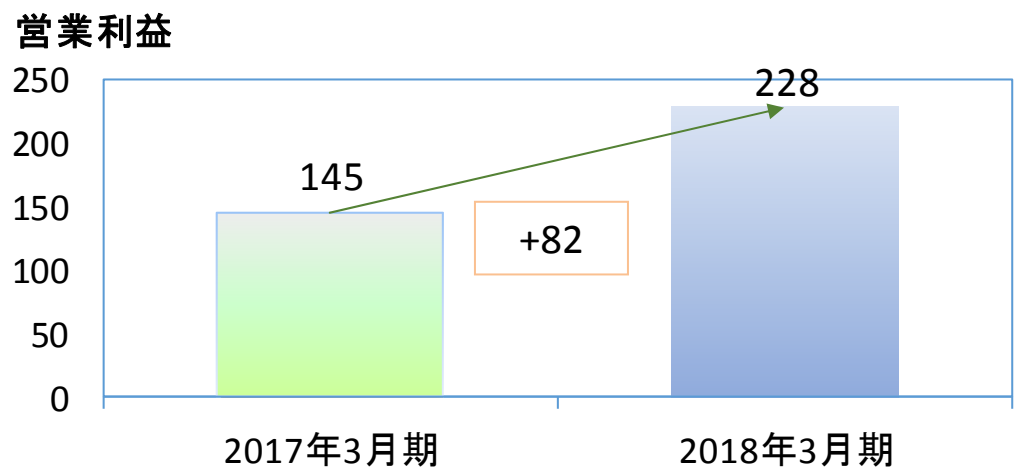
営業利益



- ☆ インドネシア新倉庫稼動による諸経費の増加

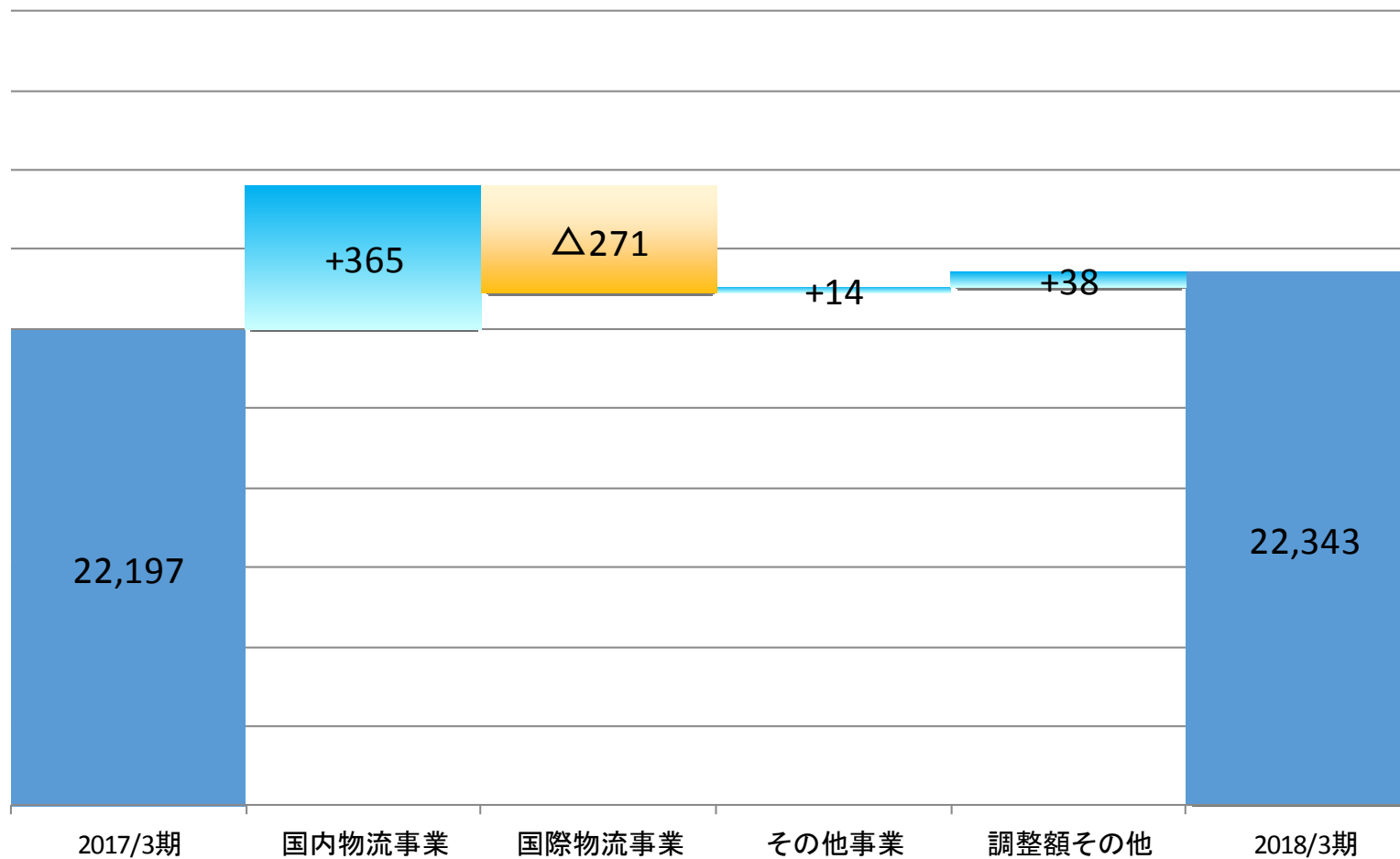


☆ 信託物件の収益増加
(前期取得分)

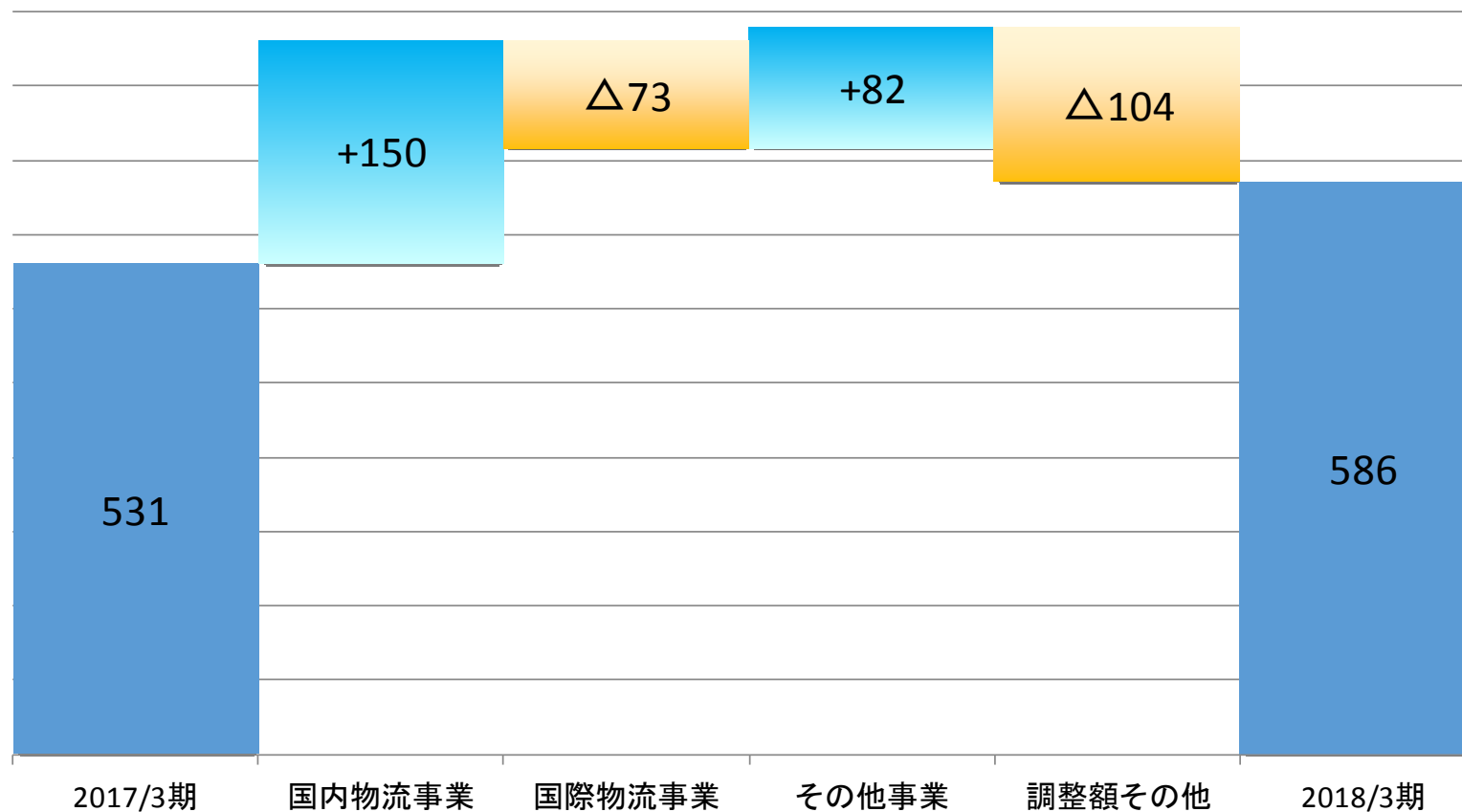


☆ 信託物件の利益増加、
前期発生初期費用の減少

(単位:百万円)



(単位:百万円)



(単位:百万円)

科目	2017/3 期末	2018/3 期末	前期末比	増減要因
資 産 の 部	28,081	28,444	+ 362	
うち現金及び預金	4,210	3,155	△ 1,054	【増加】子会社の増資、長期借入金の新規借入、株式の売却 【減少】設備投資、借入金の返済
建物及び構築物	7,279	7,665	+ 385	インドネシア新倉庫新設・稼動による増加、減損等による減少
土 地	4,960	6,191	+ 1,231	インドネシア新倉庫土地、関東新倉庫用土地取得
建設仮勘定	937	218	△ 719	インドネシア新倉庫完成による振替え
投資有価証券	1,108	1,187	+ 79	株価の上昇による評価差額の増加
負 債 の 部	11,848	10,867	△ 980	
うち短期借入金	1,711	992	△ 719	借入金の返済による減少
長期借入金	6,180	5,614	△ 566	借入金の返済による減少
純 資 産 の 部	16,233	17,576	+ 1,343	
うち利益剰余金	12,247	12,627	+ 379	当期利益の増加による
非支配株主持分	243	1,063	+ 819	子会社の増資による増加
自己資本比率	56.9%	58.1%		



連結損益計算書(営業原価、販売費及び一般管理費)



(単位:百万円)

	2017年3月期	2018年3月期	前期比	増減要因
営業原価	19,679	19,623	△ 56	
うち下払作業費	4,253	4,315	+ 61	貨物取扱量の増加
運送費	8,535	8,350	△ 184	国際物流の減少
減価償却費	608	700	+ 91	新倉庫にかかる償却費増加
販管費	1,986	2,133	+ 147	
うち給与手当	1,007	1,074	+ 66	組織変更による増加等
租税公課	62	96	+ 34	外形事業税増加、不動産諸税等増加
その他	732	777	+ 44	海外新倉庫稼働に伴う間接経費増加等



連結損益計算書(営業外損益、特別損益)

(単位:百万円)

	2017年3月期	2018年3月期	前期比	増減要因
営業外収益	79	137	+ 58	
うち受取配当金	46	91	+ 44	
営業外費用	64	67	+ 2	
特別利益	61	427	+ 366	
うち投資有価証券 売却益	-	408	+ 408	当社保有株式売却
特別損失	34	376	+ 342	
うち減損損失	-	360	+ 360	営業所、処分予定資産等 減損損失計上

キャッシュ・フローの状況(前年比較)

(単位:百万円)

	2017年3月期	2018年3月期	前期比	増減要因
営業活動による キャッシュ・フロー	1,009	927	△ 82	【増加】当期利益の増加 【減少】売上債権の増加
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 4,340	△ 1,619	+ 2,720	【増加】設備投資の減少、 投資有価証券売却 収入の増加
財務活動による キャッシュ・フロー	2,683	△ 530	△ 3,214	【増加】非支配株主からの 払込み 【減少】短期借入金の返済、 長期借入金新規借入 の減少
期中増減額	△ 660	△ 1,215	△ 554	—
新規連結による 増加	33	—	△ 33	連結子会社の増加(前期)
期末残高	4,040	2,825	△ 1,215	—

2019年3月期 業績予想の概要

2019年3月期は営業収益、営業利益の増加を見込む

☆ 貨物取扱高が堅調に推移

☆ 国際物流事業の増加（新倉庫含む）

☆ 営業外収益、特別利益の減少
（受取配当金、投資有価証券売却益）

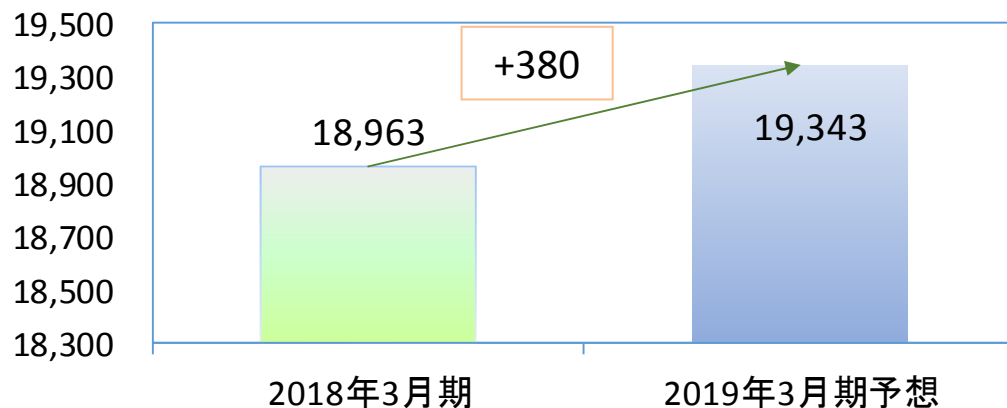
2019年3月期業績予想の概要

(単位:百万円、%)

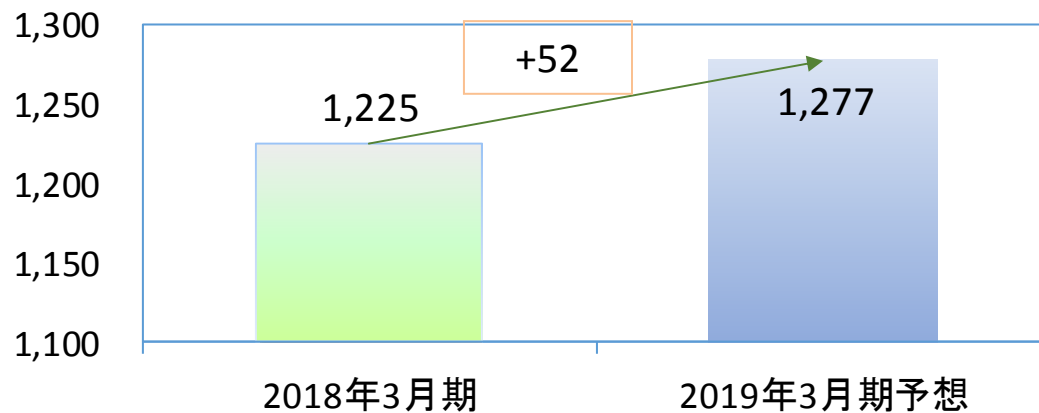
科目	2018/3期		2019/3期業績予想		
	金額	構成比	通期予想	構成比	前年比
営業収益	22,343	100.0	23,200	100.0	+ 3.8
営業利益	586	2.6	650	2.8	+ 10.8
経常利益	657	2.9	670	2.9	+ 1.9
親会社株主に 帰属する 当期純利益	487	2.2	440	1.9	△ 9.7

セグメント別予想(国内物流事業)

営業収益 (単位:百万円) セグメント間相殺前

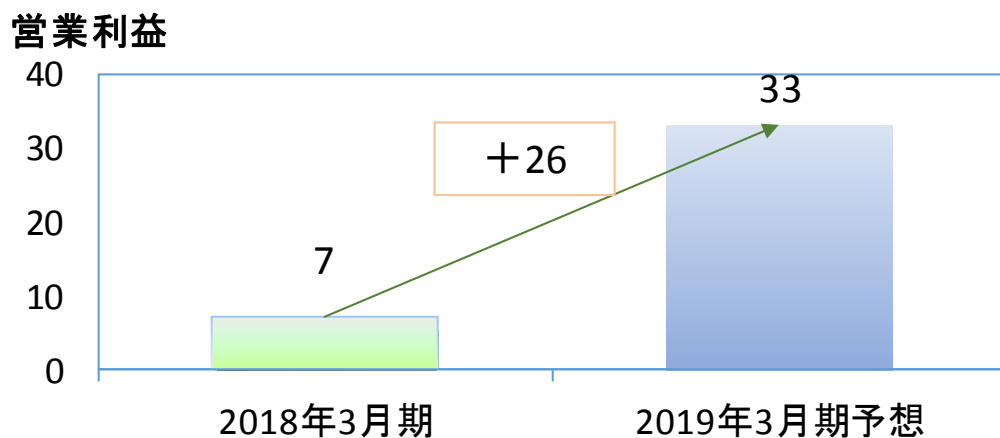
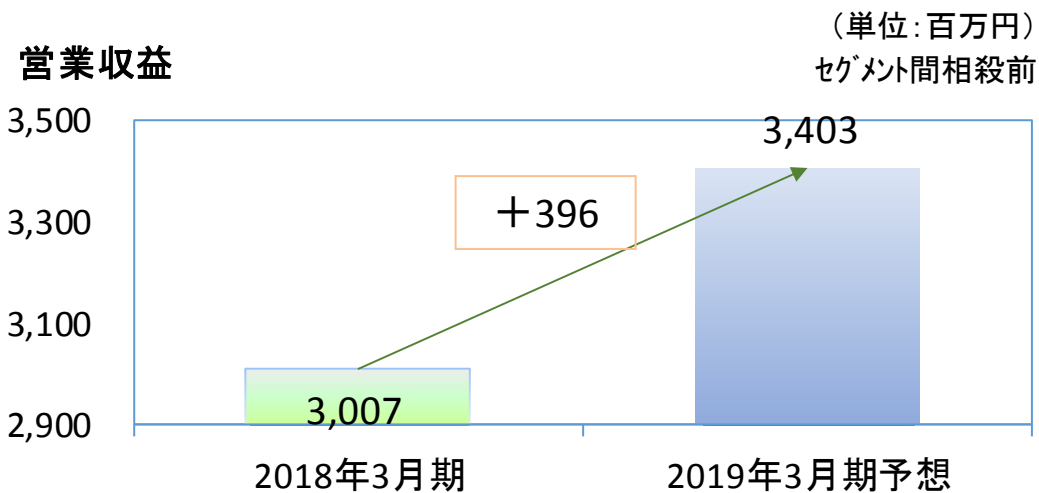


営業利益



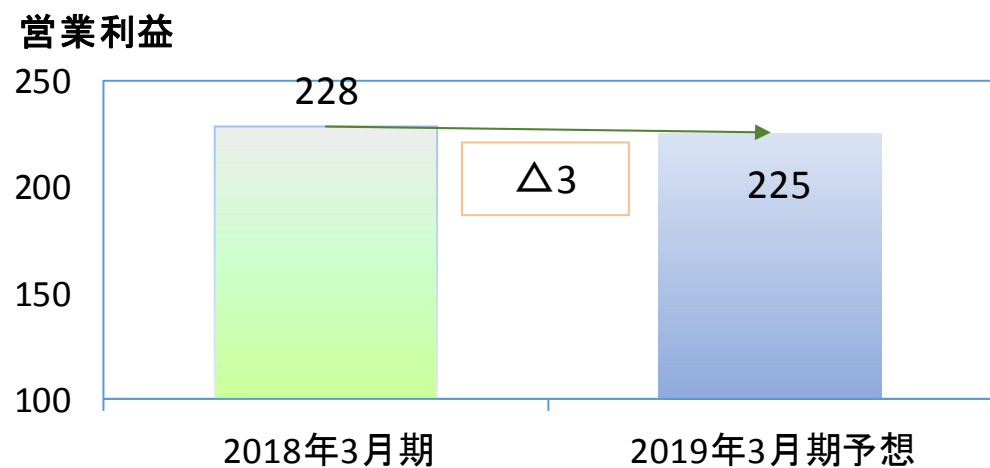
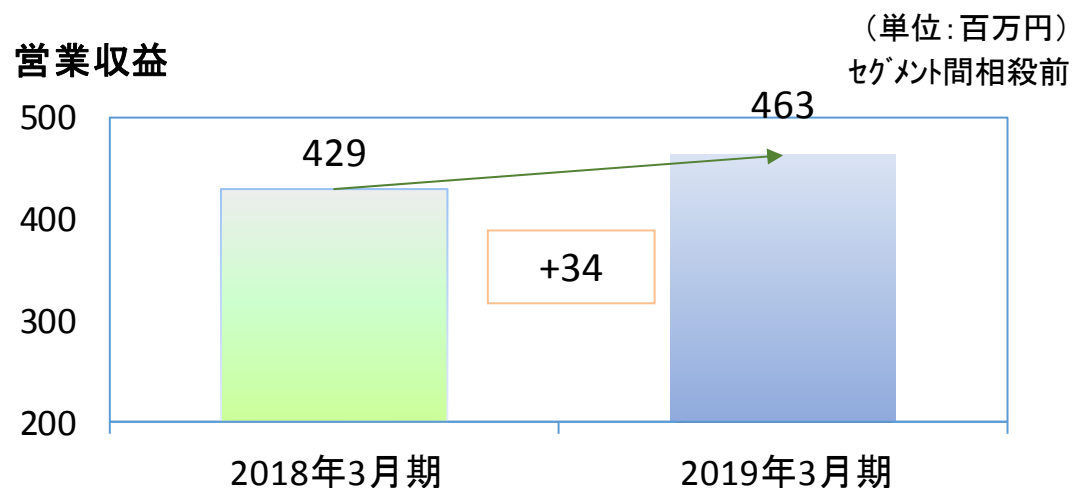
- ☆ 貨物取扱高が堅調に維持
- ☆ 倉庫増設による再保管経費の圧縮

セグメント別予想(国際物流事業)



- ☆ 貨物取扱量の回復
- ☆ インドネシア新倉庫の本格稼働による増加

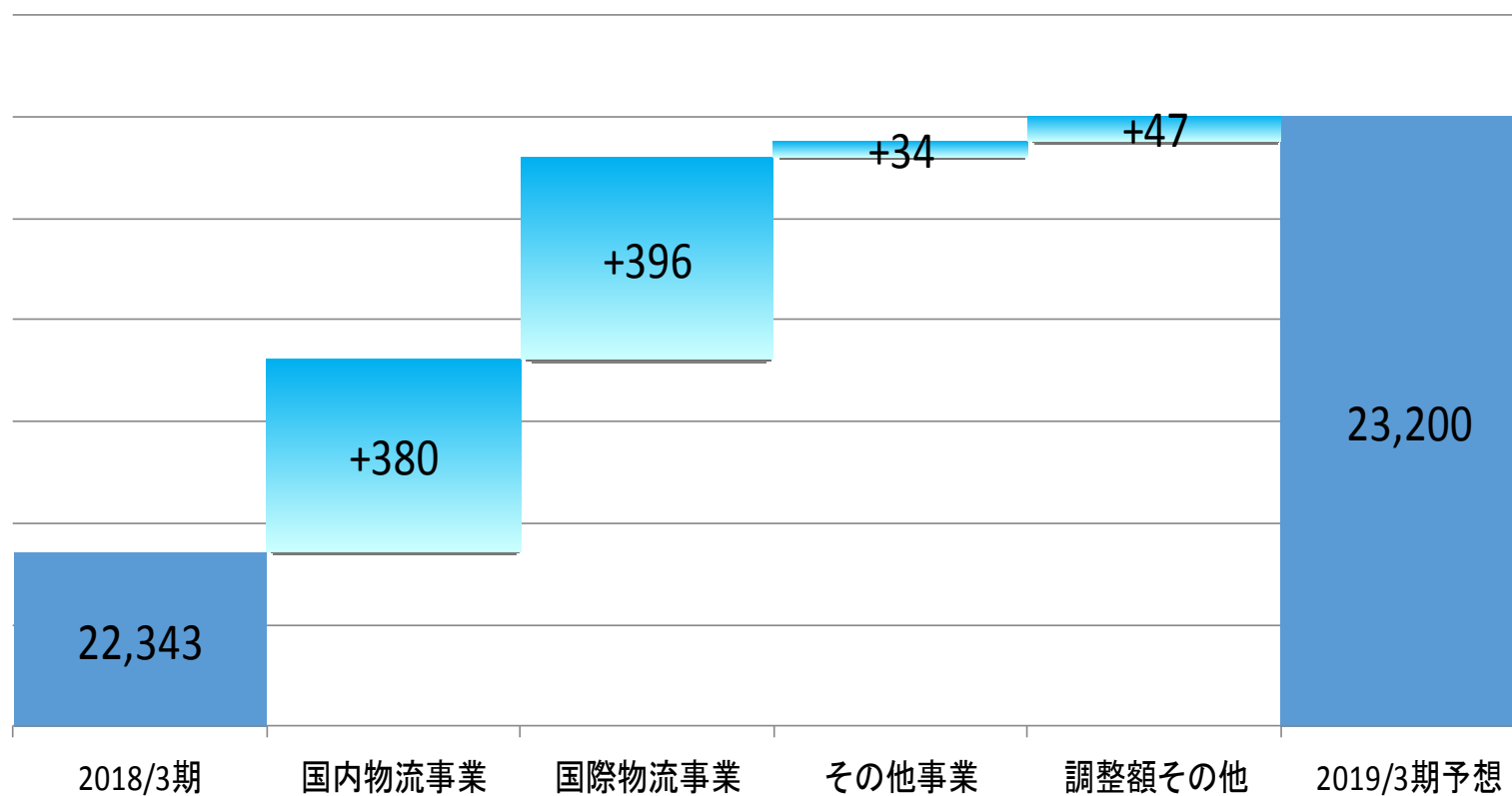
セグメント別予想(その他事業)



☆ 太陽光売電収入、賃貸収入等
について、当期と同程度を予想

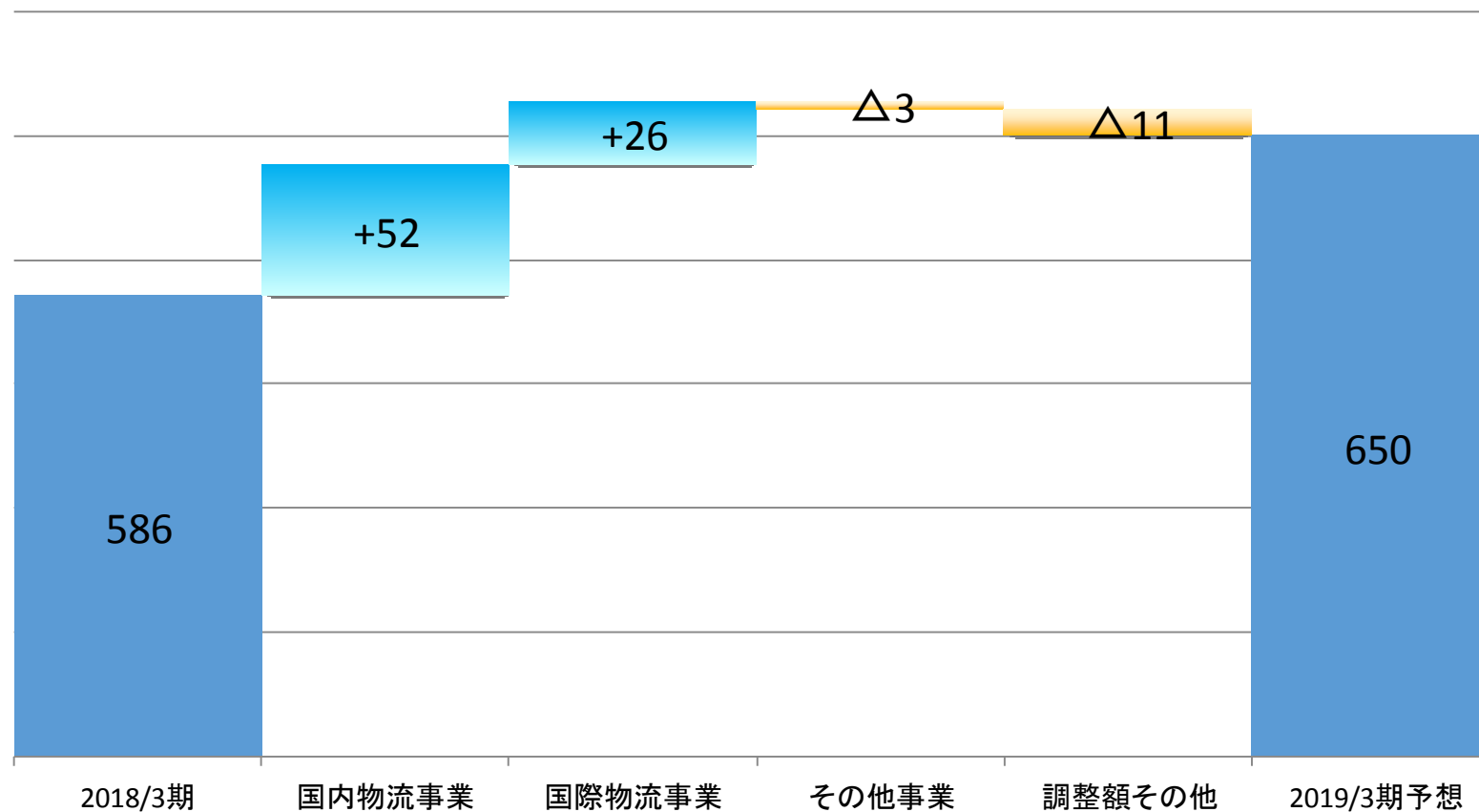
2019/3期営業収益増減要因

(単位: 百万円)



2019/3期営業利益増減要因

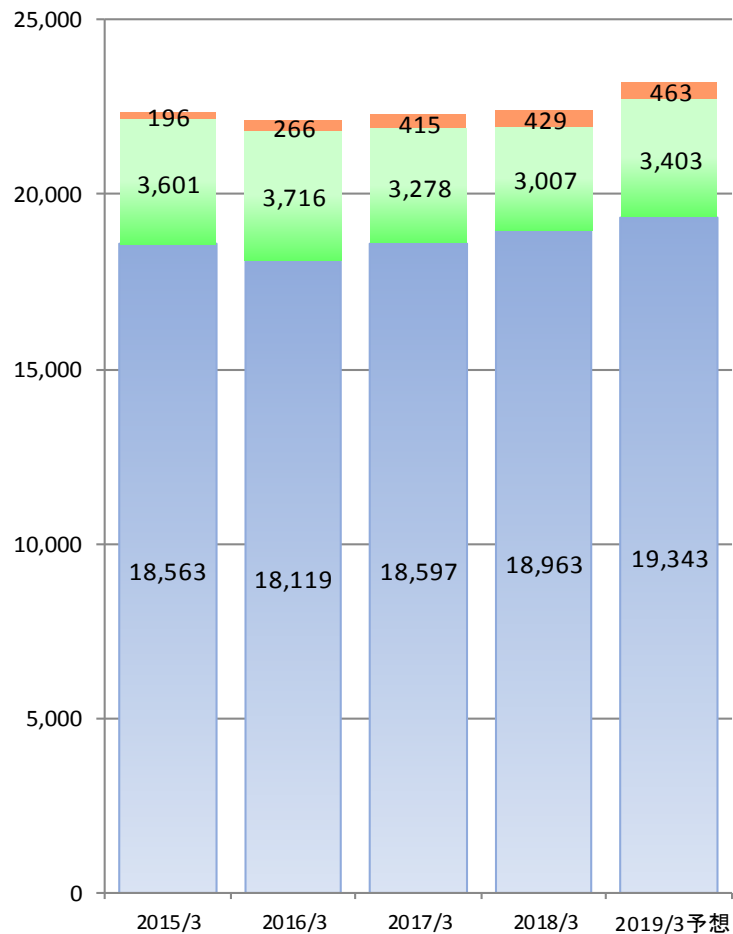
(単位: 百万円)



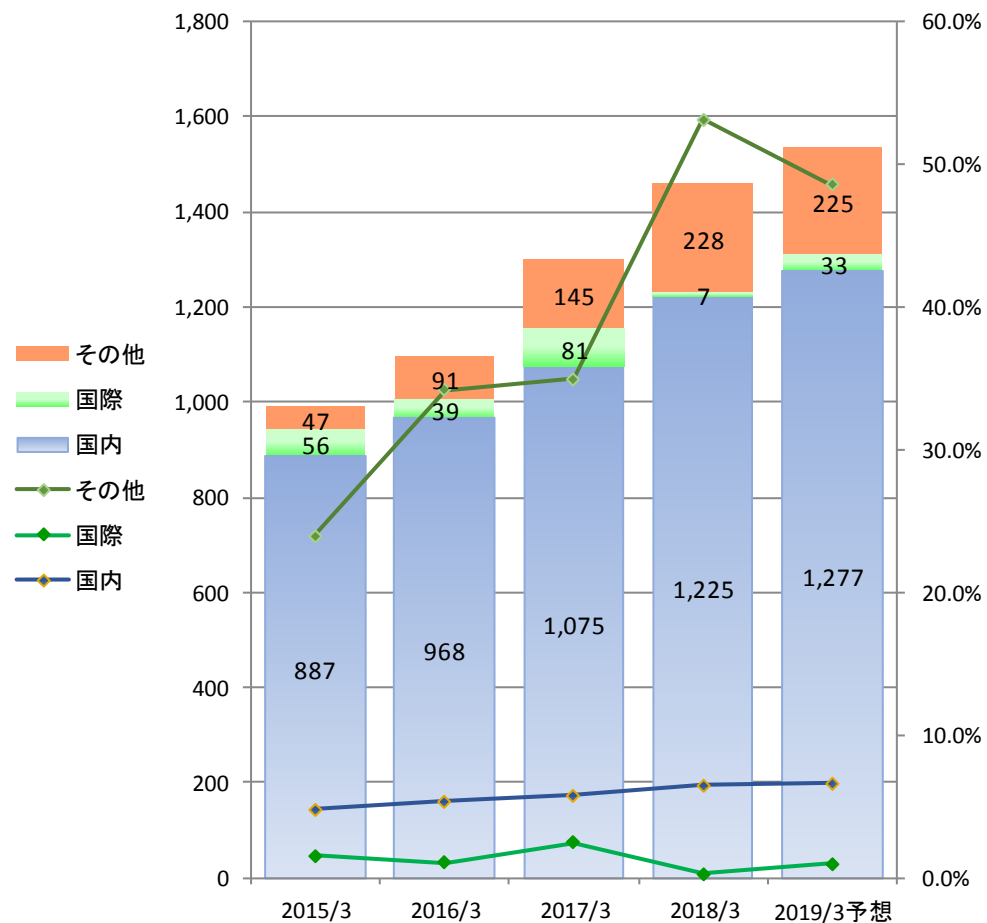
(単位: 百万円、%)

セグメント間相殺前

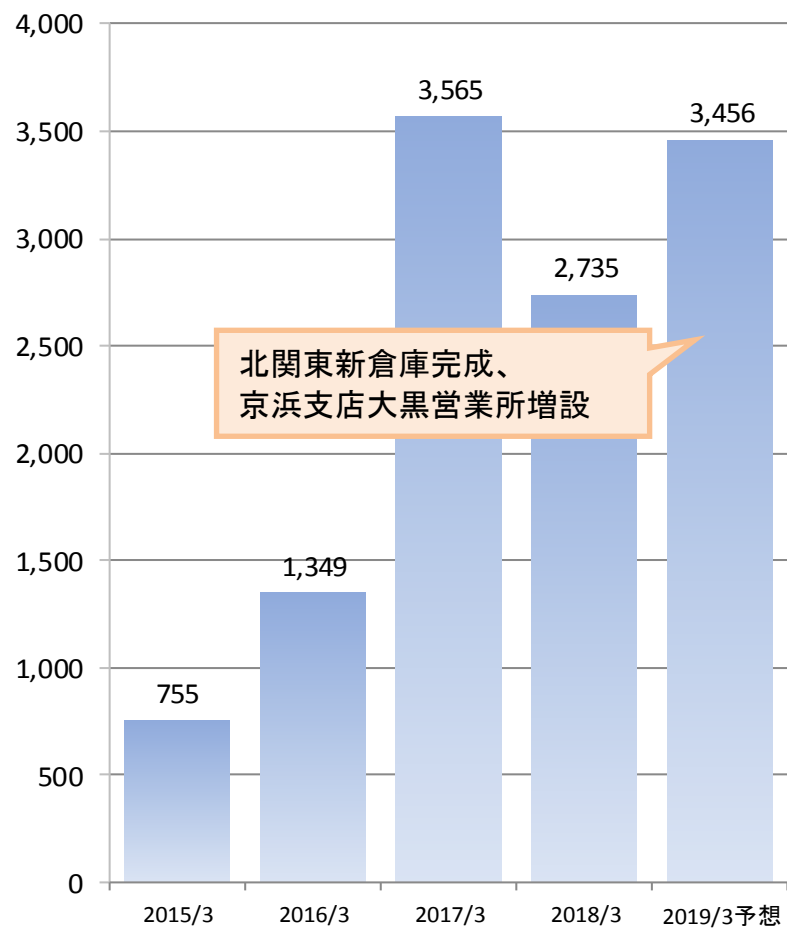
売上高



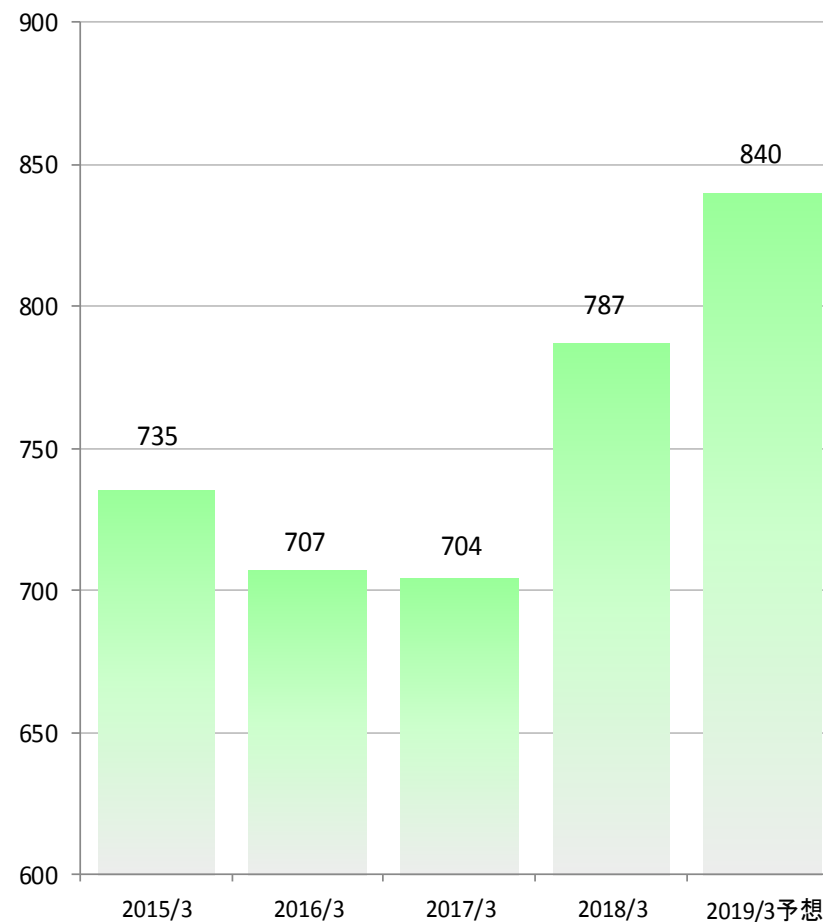
セグメント利益・利益率



設備投資額 (単位:百万円)



減価償却費 (単位:百万円)



2018年3月期実績: 27億35百万円(完成ベース)

【主な投資内容】

- ・PT KAWANISHI WAREHOUSE INDONESIA 倉庫新設
(2018年10月稼働)
- ・北関東新倉庫建設予定地購入
- ・神戸支店六甲ターミナル営業所テント倉庫 他

2019年3月期計画: 34億円(完成ベース)

【主な投資内容】

- ・北関東新倉庫建設(2019年1月稼働予定)
- ・京浜支店大黒営業所増築
- ・定温設備更新 他

配当実績推移

	2015年度 実績	2016年度 実績	2017年度 実績	2018年度 実績	2019年度 予定
中間配当	4.00円	6.00円	6.00円	8.00円	6.00円
期末配当	6.00円	6.00円	6.00円	8.00円	6.00円
年間	10.00円	12.00円	12.00円	16.00円	12.00円
配当性向	—	33.3%	24.6%	25.0%	20.7%

株主優待

保有株式数	保有期間	基準日	優待内容
100株以上	3年未満	9月末日、3月末日	クオカード 1,000円分
100株以上	3年以上	9月末日、3月末日	クオカード 1,500円分

対象となる株主様

毎年9月末日および3月末日現在の株主名簿に記載または記録された1単元(100株)以上の株式を保有されている株主様

(贈呈時期:毎年12月中旬にお送りする「中間報告書」および6月下旬にお送りする「報告書」とともに発送を予定しております。)

なお、保有期間が3年以上の株主様の優待内容については、平成30年9月末日現在の株主名簿に記載または記録された株主様より適用いたします。



本資料中の業績予想、見通しおよび事業計画についての記述は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、記載された将来の業績を保証するものではありません。